

8 漢字を使う習慣を身に付けさせる指導について（5・6年）

【グループ対抗ゲーム問題例】

（表）

いまからいちまんごせんねんまえころから、ちきゅうのきこうはかんれいかとおんだんかをくりかえしながら、だんだんとあたたかくなっていった。このじだいのきこうのかわりぐあいはきゅうげきで、たとえばやくいちまんさんぜんねんまえには、……

（裏）

今から一万五千年前ごろから、地球の気候は寒冷化と温暖化をくり返しながら、だんだんと暖かくなっていった。この時代の気候の変わりぐあいは急激で、例えば約一万三千年前には、……

【指導の流れ】

1 作文や新聞作り、総合的な学習の時間での分かったことのまとめなど、文章を作成した後は、習った漢字を正しく使っているか、常に自分で見直しをするように習慣付ける。

2 朝のスキルタイムなどを活用して、グループ対抗のゲームを行わせる。
「画用紙に、グループで話し合って、

教科書や本、新聞などから、文章（長めでつながりのある文章）をひらがなで写しましょう。漢字に直す部分を赤などで目立つように工夫しましょう。また、何から出題したかについて、書くようにしましょう。裏には答えを漢字で書きます。」

3 各グループの問題が作成できたら、時間を見つけて、グループ対抗の漢字に直すゲームを行わせ、合計点数を競わせる。

【留意点】

1 見直しは、一回だけでなく、二、三回は行うようにする。また、時にはペアで読み合ってチェックし合う活動を取り入れることで、正しく見直そうとする意欲を高める。

忘れた漢字や正しいかどうか自信がもてない漢字は、自分で国語辞典などを引いて確認する習慣を身に付けさせる。

2 表の平仮名だらけの文章を見たときに、気付くことはないか質問する。裏の漢字を使った文章と比較させ、漢字を使う有効性に気付かせる。特に、同音異義語の具体例を挙げ、漢字にすることで、正しく意味を伝えることができることを実感させる。